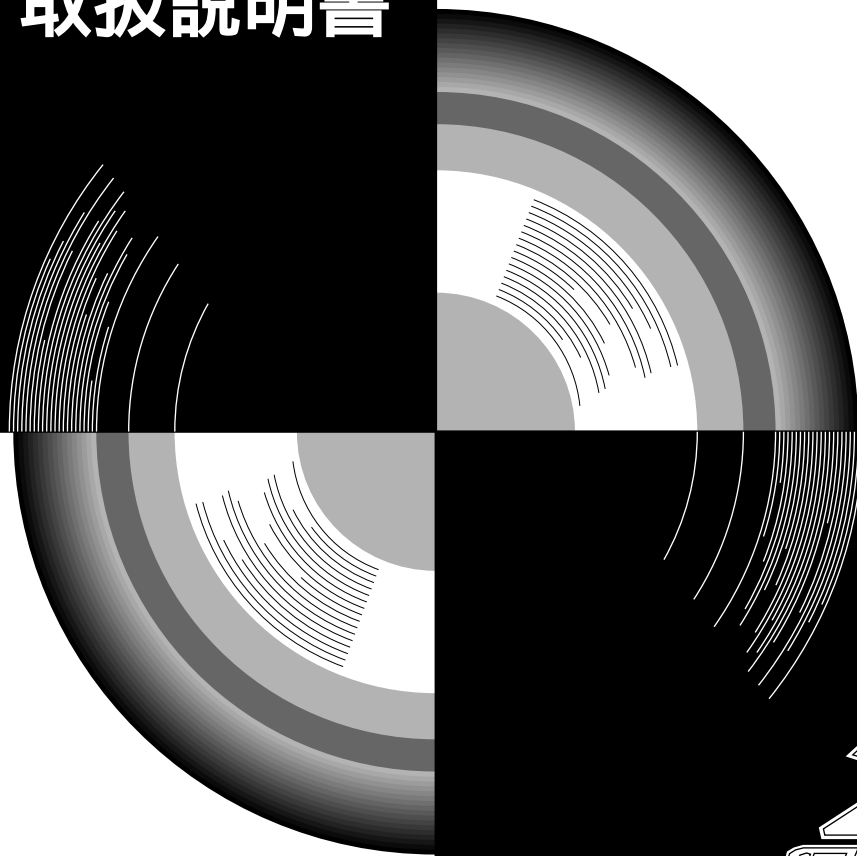


取扱説明書



3YK-28199-J1

ZR
SUPER JUG

はじめに

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。

車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。

また、メンテナンスノート、セーフティガイド（スクーターをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。

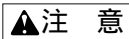
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。



安全にかかわる注意情報を示してあります。



取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。



取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点

正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- お車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間
- 保証書の発行（保証書裏面の記入・捺印）

車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。

仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

1. 安全運転のために	P2	止まりかた	P28	ヒューズ	P45
あなた自身のために	P2	5. 日常点検	P30	8. お車の手入れ	P46
歩行者と他の車のために	P7	日常点検の実施	P30	洗車	P46
環境・住民の方との調和のために	P8	日常点検箇所 / 点検内容	P30	保管のしかた	P47
2. 名称と操作	P10	日常点検の方法	P31	アフターケア用品について	P48
各部の名称	P10	6. 定期点検整備	P35	こんなときは	P49
計器類の見かた	P12	定期点検整備の実施	P35	9. サービスデータ	P51
メインスイッチ	P13	定期点検整備の方法	P35	製品仕様	P51
ハンドルロック	P14	エアクリーナーエレメントの		10. モデルラベル	巻末
ハンドルスイッチの使いかた	P15	点検	P36		
ヘルメットホルダー	P17	車体各部の給油脂状態の点検	P37		
シートの開閉	P17	バッテリーの点検	P38		
書類入れ	P18	ブレーキパッドの点検	P38		
フロントラック	P18	ブレーキシューの摩耗点検	P38		
コンビニフック	P18	7. やさしい整備	P39		
ボックス	P19	やさしい整備	P39		
3. 燃料補給	P20	ブレーキの遊びの調整	P39		
ガソリンの給油	P20	ブレーキ液の補給	P40		
エンジンオイルの補給	P21	トランスミッションオイルの			
4. 運転操作	P22	交換時期	P41		
エンジンのかけかた	P22	エアクリーナーエレメントの			
発進のしかた	P25	清掃	P41		
ならし運転のしかた	P27	バックミラー	P42		
ブレーキの使いかた	P27	バッテリー	P42		

1. 安全運転のために	2
2. 名称と操作	10
3. 燃料補給	20
4. 運転操作	22
5. 日常点検	30
6. 定期点検整備	35
7. やさしい整備	39
8. お車の手入れ	46
9. サービスデータ	51
10. モデルラベル	巻末



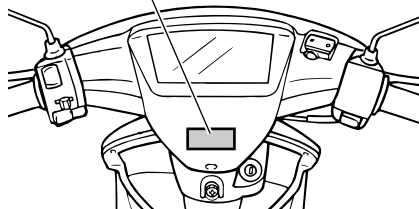
安全運転のために

JAU01903

1.あなた自身のために

安全項目ラベルについて

安全項目ラベル



運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

警告

- ・取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
- ・ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- ・マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
- ・ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
- ・違法改造はやめましょう。
- ・定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

3XC-2118K-10

JAU01896

この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

- 安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。
ヘルメットはSまたはSG、JISマークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっかり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は、明るく目立つ色で動きやすく、体の露出が少ないものを着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
ズボンのすそや袖口の広い服は、運転操作のじゃまになり、思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。
- 靴はかかとが低く、足にピッタリしたものを選んでください。



警告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。

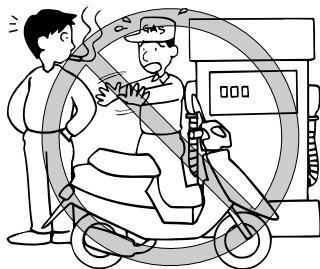
運転者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず実施してください。



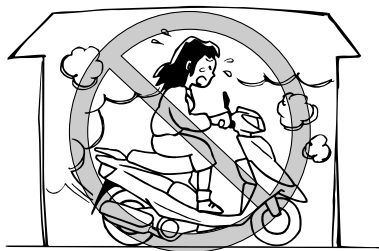
事故や故障を防ぐため、法令で定められた1日1回ご使用前に行う日常点検と、法令で定められた6か月、12か月ごとに行う定期点検は必ず実施してください。

給油時は火気厳禁



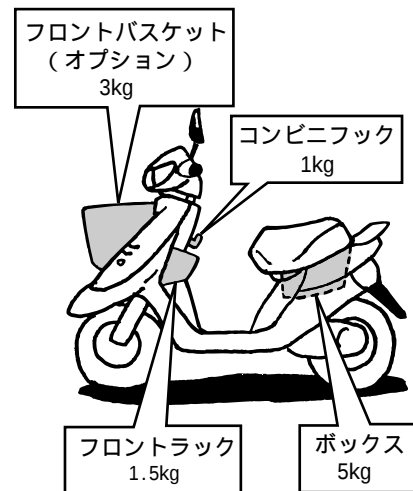
ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

風通しの悪い場所でエンジンを始動しない



排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

荷物はしっかり固定する

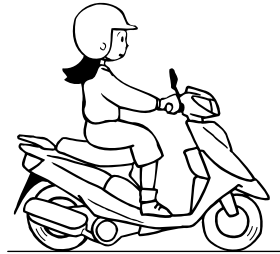


- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときに比べて操縦安定性が変わります。
荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険です。積みすぎないように注意してください。

両手はハンドル、両足はフットボード



- フロントバスケット（オプション）から荷物が出ないように注意してください。ハンドル操作や、ヘッドライトの配光に支障をきたすことがあります。また、ライトの熱により荷物に変色などの不具合をきたすことがあります。



運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットボードにのせます。

押して移動するときはエンジンを止める



車から降りて押して移動するときはエンジンを止めてください。

やむをえずエンジンをかけたまま移動するときはスロットルグリップを不用意に回さないようにするため必ず右手でハイマウントストップランプのサイド部を持って行ってください。

スロットルグリップを持って行うと思わぬ事故の原因となります。

乗車定員は1名



運転者以外に人を乗せることは道路交通法によって禁じられています。

法定最高速度は30km/h

車の速度が法定最高速度（30km/h）以上になると、スピードメーター部の速度警告灯が点滅し、運転者に注意をうながします。

急激なハンドル操作や片手運転はしない



急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない

エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

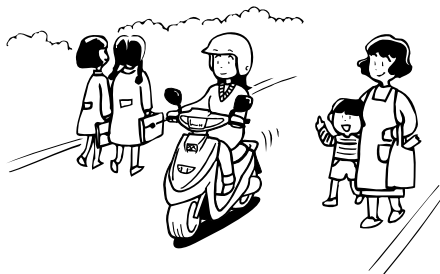
自賠責保険に必ず加入



自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。
また、保険の期限切れにも注意してください。

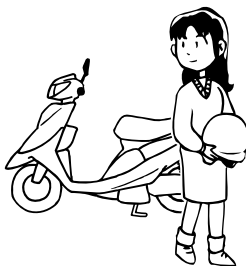
2. 歩行者と他の車のために

他の人への思いやり

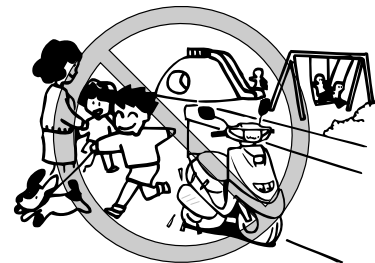


- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。
歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

駐車



- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、メインスイッチキーをお持ちください。また、Pロック、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。



- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。

警告

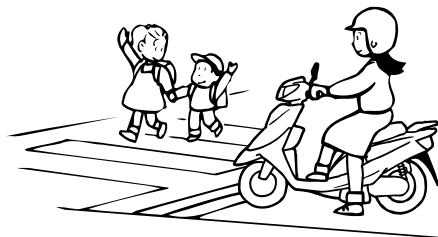
- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。

昼間はヘッドライトを下向きに

この車両は自動昼間点灯仕様です。エンジンがかかっている間は点灯しつづけます。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

3. 環境・住民の方との調和のために

住民の方への思いやり



自分の都合だけを考えて、沿道の方に不快な騒音などの迷惑をかけないでください。特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

違法改造はしない

違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。また、改造すると車の保証が受けられません。なお、ヤマハ純正部品のマフラーには "YAMAHA" マークが刻印されています。

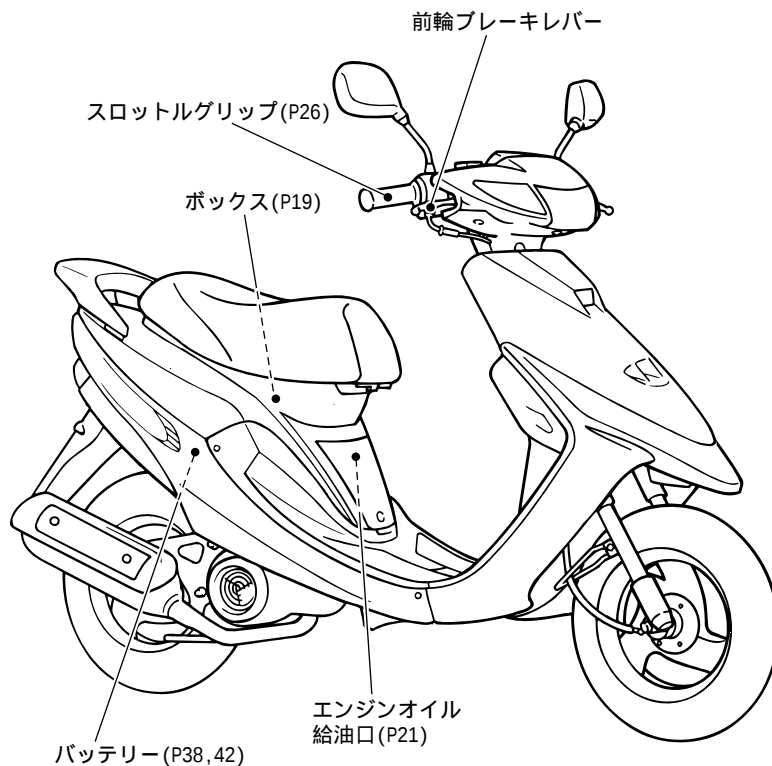
環境への配慮

廃車やバッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。



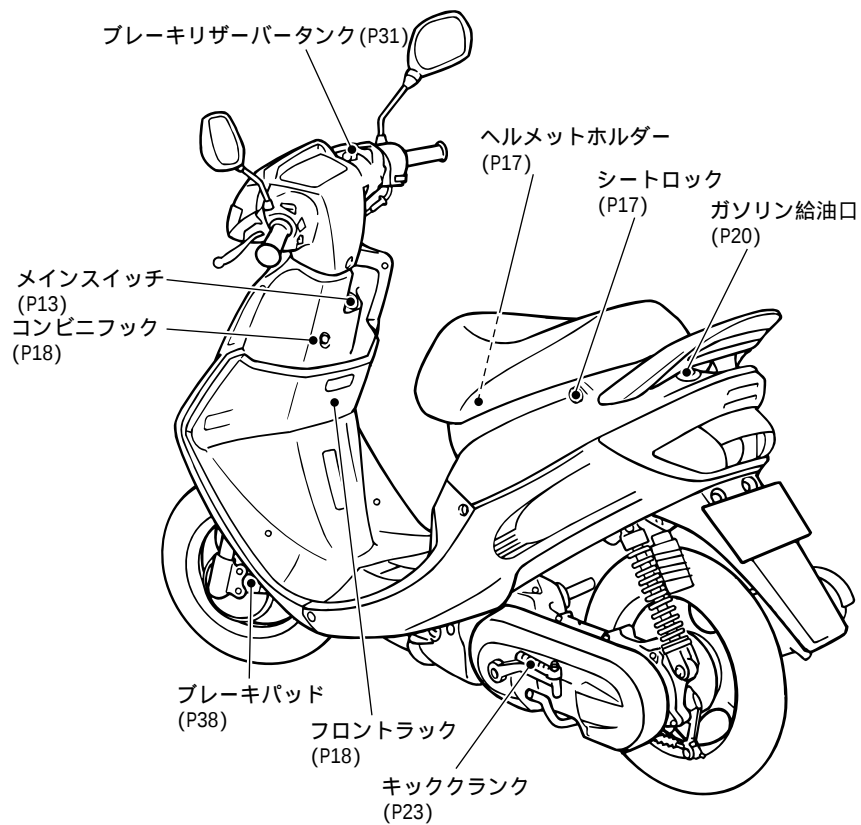
名称と操作

各部の名称

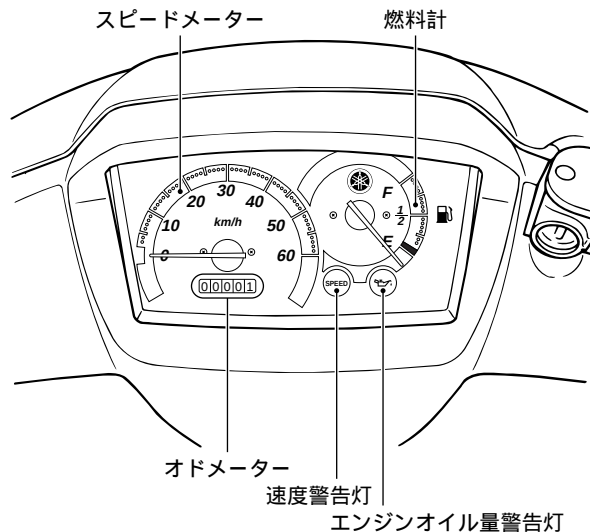


各部の名称を示してあります。() 内に参照ページがあるものは、そのページに詳しい説明があります。

(.....部は外からは見えない部分です。)



計器類の見かた



JAU01922

スピードメーター

車の速度を指針で示します。

JAU01924

オドメーター

走行した総距離を示します。

1ケタ目（白地に黒文字）が100m単位で、
2ケタ目がkm単位です。

オイル交換や定期点検整備の目安にもなり
ます。

JAU01940

速度警告灯（SPEED）

車の速度が30km/hを超えると点滅し、運
転者に注意をうながします。

JAU01951

エンジンオイル量警告灯（)

オイルタンク内のエンジンオイル量が規定
以下になると点灯し、補給時期を知らせま
す。

▲ 注 意

エンジンオイルが不足したまま走行する
と、エンジンがこわれる原因となります。
走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯し
たときは、早めにエンジンオイルを補給し
てください。補給すると警告灯は消えます。

JAU01971

燃料計

ガソリンの残量を示します。

指針が“E”に近づいたら、早めに補給してください。

“E”のガソリン残量は約1.2Lです。

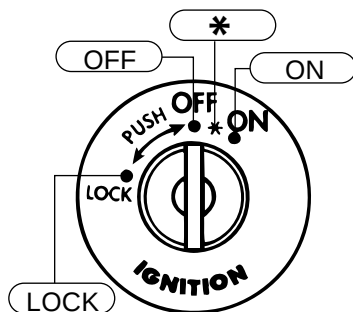
要 点

- 燃料計はメインスイッチがONのときだけに作動します。OFFのときは指針が“E”より下側に移動します。
- 残量の確認は、平らな場所でメインスタンドを立て、メインスイッチをONにしてください。

JAU02013

メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入/切」、ハンドルロックを行います。



JAU02028

ON

- エンジンの始動ができます。
- メーター灯が点灯します。
- エンジンを始動させるとヘッドライト、テールランプが点灯します。
- キーは抜けません。

JAU02036

OFF

- エンジンを止めます。
エンジンは始動できません。
- キーの抜き差しができます。

JAU02037

*

- エンジンオイル量警告灯の球切れの確認用です。オイルタンク内のオイル量に係なく点灯します。

▲注意

点灯しないときは、すぐにヤマハ販売店で点検を受けてください。

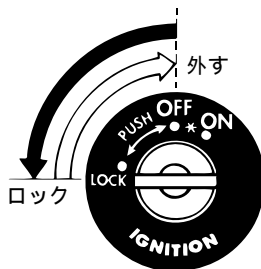
JAU02038

LOCK (ハンドルロック)

- ハンドルをロックします。
- キーの抜き差しができます。

ハンドルロック

ハンドルロックは駐車時などの盗難予防用です。



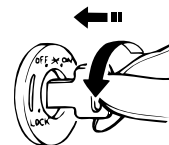
ロックのしかた

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. OFFの位置でキーを押し込み、そのままLOCKまで回します。

要 点

ロックしにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

3. ハンドルを軽く左右に動かして、ロックを確認します。
4. キーを抜きます。



JAU02042

警告

走行中にメインスイッチのキーをOFFやLOCKの位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチキーは必ず停車中に操作してください。

JAU02045

注意

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、メインスイッチキーをお持ちください。
- メインスイッチをONのままにしたり、エンジン始動後アイドリング状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。注意してください。

⚠ 警 告

- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。
また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。

⚠ 注 意

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

ロックの外しかた

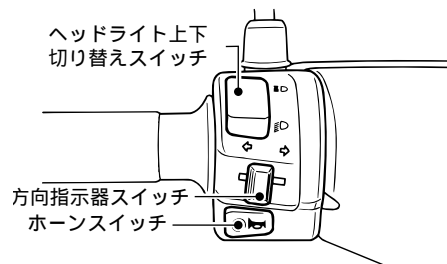
キーをLOCKの位置で押し込み、そのままOFFまで回します。

⚠ 警 告

走行前にハンドルを左右に切り、切れ角が左右均等であるかを確認します。

JAU02070

ハンドルスイッチの使いかた



JAU02072

ヘッドライト上下切り替えスイッチ

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。

☺ (上向き) : 遠くを照らします。

☹ (下向き) : 近くを照らします。

要 点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向き ☹ にしてください。

JAU02081

方向指示器スイッチ (◁▷)

進路変更の合図に使用します。
メインスイッチONのときに使用できます。
操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。
消灯するときは、スイッチを押します。

▷: 右側の方向指示灯が点滅します。

◁: 左側の方向指示灯が点滅します。

要 点

方向指示器を使用すると“カチカチ”音がします。

⚠ 警 告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他の方の迷惑になります。

⚠ 注 意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。これ以外のものを使用すると、正常に作動しません。

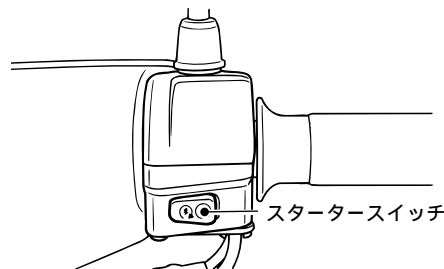
JAU02083

ホーンスイッチ (📢)

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要 点

必要なときにのみ使用してください。



JAU02094

スタータースイッチ (🔌)

エンジンを始動するスイッチです。
始動するときはメインスイッチをONにし、前輪または後輪ブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押します。

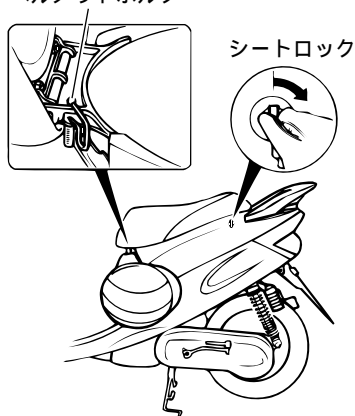
⚠ 注 意

スターターモーターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。

ヘルメットホルダー

シートを開けるとヘルメットホルダーがあります。ヘルメットのあごひもの金具部分を掛け、シートをロックします。

ヘルメットホルダー



シートロック

⚠ 警告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

シートの開閉

シートを開けるときは、メインスイッチキーでシートロックを外し、シート後方を持ち上げます。

閉めるときは、シート後方をロックするまで押さえます。



シートロック

⚠ 注意

メインスイッチキーをシートの下に置いたまま閉じると、ロックされてキーが取り出せなくなります。注意してください。

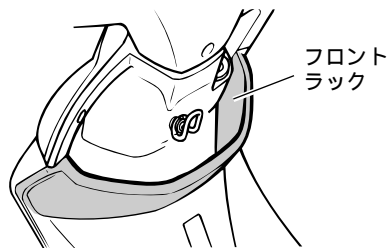
書類入れ

シート裏側に書類保管場所があります。
メンテナンスノート、自賠責保険証はビニール袋に入れて、フックではさんでください。



フロントラック

フロントラックから荷物のはみ出さないように積んでください。

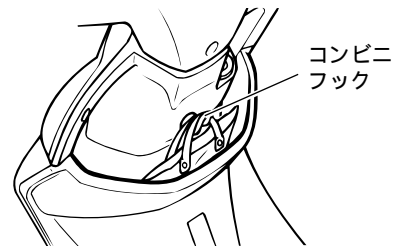


警告

フロントラックに積める荷物は1.5kgまでです。

コンビニフック

手さげ袋などをこのフックに掛けます。



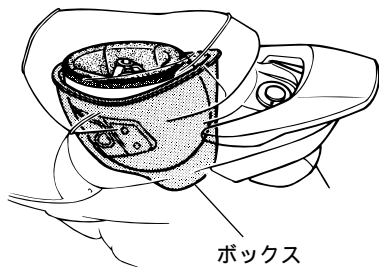
警告

コンビニフックに掛けられる荷物は、1kgまでです。

ボックス

シート下にボックス（トランク）があります。

ボックス内にヘルメットを収納するとき
は、ヘルメットを逆さにし、シールドやひ
さし側を前向きにして収納してください。



警告

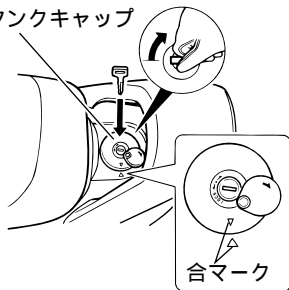
ボックス内に積める荷物は5kgまでです。

注意

- 洗車すると中に水が入ることがあります。
大切なものは、ビニール袋などに入れて
収納してください。
- 濡れたものは、ビニール袋に入れてから
収納してください。
濡れたまま入れると、ボックス内にカビ
などが発生することがあります。
- 貴重品やこわれやすい物はいれないでく
ださい。
- ボックス内は直射日光などで温度が高く
なります。熱の影響を受けやすい物はい
れないでください。
- 車から離れるときは必ずシートをロック
してください。
- メインスイッチキーをボックス内に入れ
たままシートを閉じると、ロックされ、
開けられなくなります。注意してくださ
い。

ガソリンの給油

フューエルタンクキャップ



1. シート後方のフューエルタンクキャップのスライドカバーを開けます。
2. メインスイッチキーでロックを外し、フューエルタンクキャップを開けます。
3. ガソリンを給油します。
ガソリンは注入口にあるフィラープレート下部より上に入れないでください。
4. 給油後はフューエルタンクキャップを取り付け、メインスイッチキーをLOCKにして抜き取ります。

要 点

フューエルタンクキャップを取り付けるときは、キャップ側と車体側の合マークをあわせて押し込みます。

タンク容量：約4.0L

使用燃料：無鉛レギュラーガソリン

⚠ 警 告

- ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。
- ガソリンをフィラープレート下部より上に入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。給油限度を守って給油してください。
- フューエルタンクキャップは確実に閉めてください。

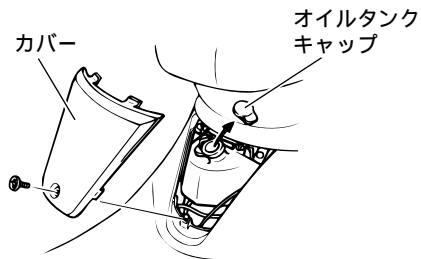


⚠ 注 意

- こぼれたガソリンは、布きれなどできれいにふきとってください。
- タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。

エンジンオイルの補給

1. シート下側のカバーを外します。
2. オイルタンクキャップを外して補給します。



推奨オイル：

ヤマハオートループスーパーオイルもしくは
JASO2サイクルエンジンオイル規格FC
グレード

▲注意

- 走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。
- エンジンオイルの補給は、必ずエンジンを止めて、火気を近づけないでください。
- オイルの補給時は、オイルタンクの口元からあふれさせないよう慎重に行ってください。
- オイルが不足したまま走行すると、エンジン故障の原因となりますので、必ずエンジンオイル量を点検してください。
- 銘柄やグレードの違うオイルを混入させたり、低品質オイルを使用しないでください。
- オイルタンクキャップは確実に取り付けてください。走行中にオイルがにじみ出ることがあります。
- オイルタンク付近には布きれなどを置かないでください。エンジンに悪影響を与えることがあります。



運転操作

JAU02416

エンジンのかけかた

エンジンをかける前に

- エンジンを始動するときは、風通しのよい屋外で行います。

警告

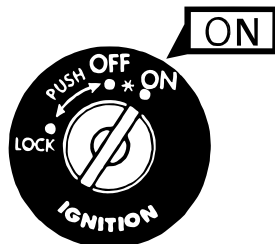
排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

- ガソリン、オイル量が充分あることを確認します。
- メインスタンドを立て、必ず車の左側から操作します。

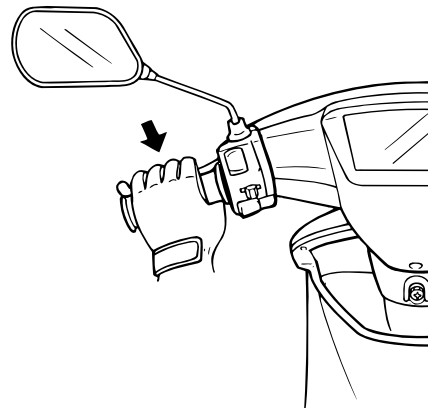
1

メインスイッチをONにします。



2

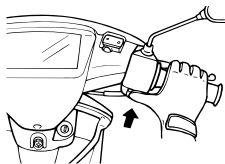
後輪ブレーキレバーをしっかりと握ります。



警告

飛び出し防止のため、エンジン始動時は必ず後輪ブレーキを作動させます。

3 スロットルグリップを回さずに、スタータースイッチを押します。エンジンが始動したら、スタータースイッチから指をはなしてください。



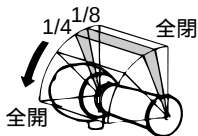
▲注 意

スタータースイッチで5秒以内にエンジンが始動しないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10秒ぐらい休ませてから押しなおしてください。

要 点

4~5回スタータースイッチを押しても始動しないときは、スロットルグリップを1/8~1/4回すと始動しやすくなります。始動したらすぐに戻します。

キッククランクで始動するときも同じです。



4 発進する前に、エンジンの回転がなめらかになるまで暖機運転をします。

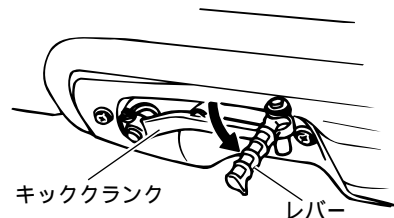
▲注 意

外気温が約5℃以下のときは、エンジン保護のため、普段よりも長く暖機運転を行ってください。

JAU02424

キッククランクを使用するとき

スタータースイッチでエンジンが始動しないときは、キッククランクを使用してください。



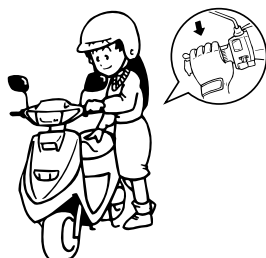
1. 前記の「エンジンをかける前に」を確認し、メインスイッチをONにします。



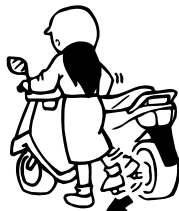
▲注 意

キック crank を使用するときは、必ずメインスタンドを立てて行ってください。

2. 左手で後輪ブレーキレバーを握り、右手をシート前方に置きます。



3. 右足でキック crank を強くキックします。



要 点

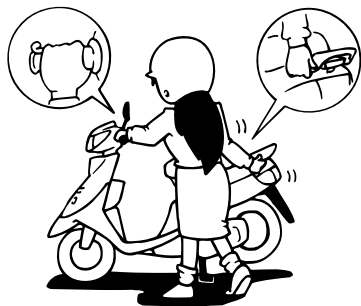
エンジン始動後、キック crank のレバーは自動的に戻りません。必ず手か足で戻してください。

発進のしかた

1

メインスタンドを戻します。

1. 左手で後輪ブレーキレバーを握り、右手でハイマウントストップランプのサイド部を持ちます。
2. 車を前に押し出してメインスタンドを戻します。



警告

メインスタンドを立てたり戻したりするときは、ハイマウントストップランプのサイド部を持ちます。スロットルグリップを握って押し出すと、スロットルグリップが回り、車が走り出すことがあります。

2

車に乗ります。

1. 車の左側から右足をフットボードに乗せます。
2. シートに腰をおろします。
このとき、車が倒れないように左足で支えてください。



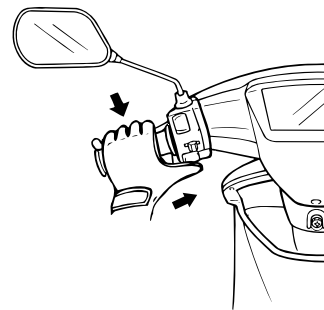
警告

飛び出し防止のため、走り出すまではエンジンの回転をむやみに上げないでください。

3

前後の安全を確認します。

1. 方向指示器スイッチを右側に入れ、発進の合図をします。
2. 前後の安全を確認します。



警告

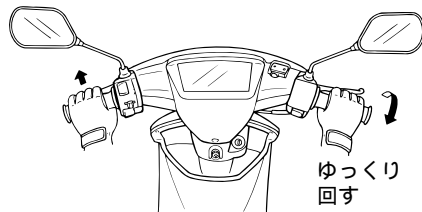
発進するときは、通行中の人や交通量などに充分注意します。

特に、夜間や後方の車には気を付けてください。

4

発進します。

1. 後輪ブレーキレバーをはなします。
2. スロットルグリップをゆっくり手前に回して発進します。



要 点

発進後は方向指示灯をすみやかに消灯します。

警告

スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です。

JAU02457

スピードの調整

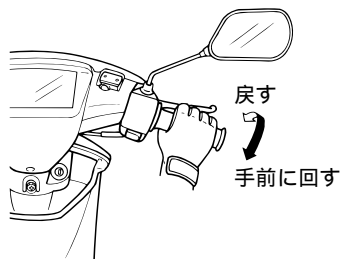
スピード調整はスロットルグリップを回して行います。

戻す：

スピードが遅くなります。すばやく戻してください。

手前に回す：

スピードが速くなります。ゆっくり回してください。



注意

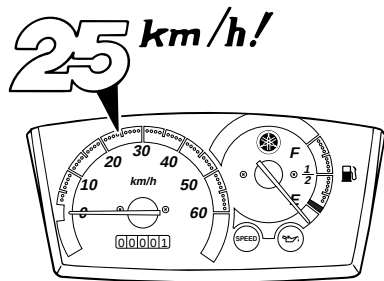
上り坂で停止するときは、ブレーキを使用してください。スロットルグリップの操作で車を保持すると、クラッチなどが発熱して故障の原因となります。

ならし運転のしかた

車を長持ちさせるために、ならし運転を行ってください。

乗りはじめてから約1か月間（または100km走行まで）は、25km/h以下のスピードで走ってください。

また、走行するときは、不要なからふかしや急加速、急減速はしないでください。



ブレーキの使いかた

- スロットルグリップを戻し、前輪ブレーキレバーと後輪ブレーキレバーを同時に握り、ブレーキをかけます。
- ブレーキは徐々に、しぼり込むようにかけるのが上手なかたです。余裕をもったブレーキ操作をしてください。
- 不要な急ブレーキはかけないでください。急ブレーキをかけると、横すべりや転倒の原因となることがあります。



警告

雨の日や水たまりを走行した後は、ブレーキのききが悪くなることがあります。

ききが悪いときは、安全な場所で前後の車に充分注意し、低速で走行しながらききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させ、ブレーキの湿りをかわかしてください。

要 点

- 前輪または後輪ブレーキだけを使うと、横すべりや転倒の原因となることがあります。必ず前後のブレーキを同時にかけてください。
- 雨の日や路面がぬれているところ、雪道や凍った道路では、滑りやすく制動距離も長くなります。速度を落として、余裕をもった運転をしてください。
- 長い下り坂などで連続してブレーキを使用すると、フェード現象の原因となります。このようなときは、エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作で走行してください。

要 点

フェード現象

- ブレーキ部の温度が上昇すると、ブレーキのききが悪くなるか、まったくきかなくなる現象。

エンジンブレーキ

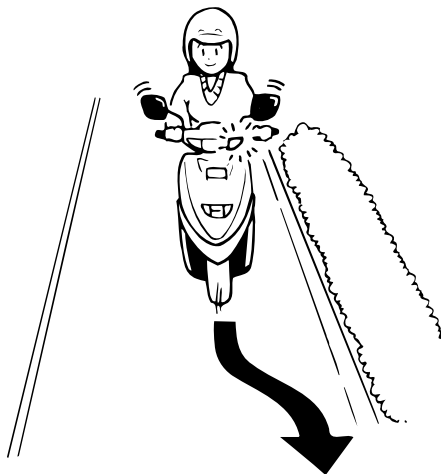
- 走行中、スロットルグリップを戻したときにかかる制動力。

止まりかた

1

止まる場所が近づいたら

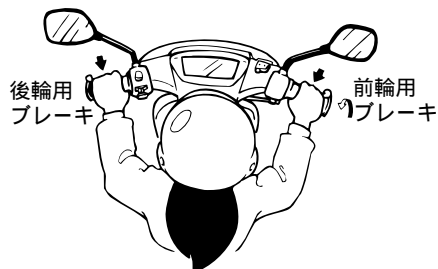
1. 方向指示器スイッチを左側に入れ、左に寄る合図をします。
2. 後方の安全を確認します。
3. 周囲の交通に注意しながら、徐々に左に寄ります。



2

ブレーキを徐々にかけます。

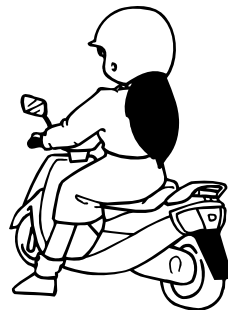
1. スロットルグリップを戻します。
2. 徐々に前輪、後輪のブレーキをかけます。
不要な急ブレーキはかけないでください。



3

車が止まったら

1. 左足を地面につけて、車を支えます。
2. 方向指示器スイッチを押して、方向指示灯を消します。
3. メインスイッチをOFFにして、エンジンを止めます。
4. 車の左側に降ります。



4

メインスタンドを立てます。

1. 左手でハンドルを、右手でハイマウントストップランプのサイド部を持ちます。
2. 車を垂直にし、右足でメインスタンドを降ろします。
このとき、メインスタンドの脚が左右同時に地面につくことを確認します。
3. 右足でメインスタンドを強く踏み込むと同時に、右手でハイマウントストップランプのサイド部を引き上げます。

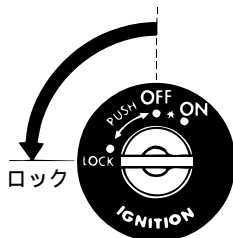
警告

- マフラーは熱くなっています。人が触れにくい場所に駐車してください。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。

JAU02480

駐車をするときは

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、Pロック、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。



日常点検

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で、1日1回の日常点検を行うことが義務づけられています。必ず実施してください。

警告

- 日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

日常点検箇所 / 点検内容

詳しい点検の方法は、次頁以降の日常点検の方法および別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 溝の深さが充分あること。
エンジン	エンジンオイルの量が適当であること。 かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。 低速、加速の状態が適当であること。
灯火装置および方向指示灯	点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。

(注)

印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

警告

点検するときは下記の内容に注意してください。

- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。
- エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。
ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガスマ中毒を起こす危険があります。
- 走行して点検するときは、交通状況に注意してください。

日常点検の方法

ブレーキレバーの握りしろ、きき具合の点検

JAU02500

ブレーキの遊びの点検

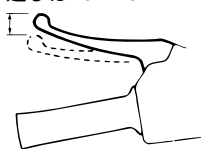
ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバー先端部の遊びが規定の範囲にあるかを点検します。

遊びは10～20mm

(ブレーキレバーの遊びの調整は39ページ参照)

<後輪>

遊びは10～20mm



警告

前輪ブレーキレバーの引き具合がやわらかく感じられるときは、エアが混入しているおそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02502

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪ブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

警告

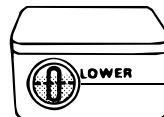
走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU02504

ブレーキ液量の点検

マスターシリンダーキャップ上面を地面と平行にして、ブレーキリザーバタンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。

(ブレーキ液の補給は、40ページ参照)



ロアレベル

警告

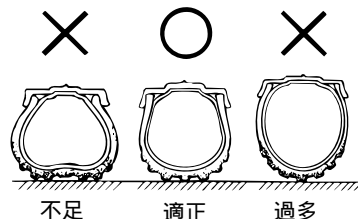
ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

タイヤの空気圧

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が適正かを点検します。

たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。

(タイヤ空気圧は51ページ参照)

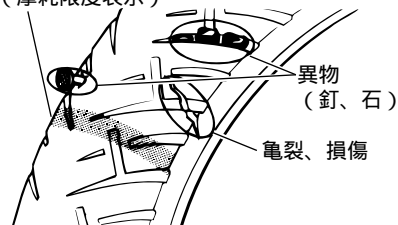


タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないかを点検します。

この車はチューブレスタイヤを装着しています。タイヤの接地面や側面に釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検し、異常があったときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ウェアインジケーター
(摩耗限度表示)



タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。タイヤに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

警告

タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02524

エンジンオイル量の点検

エンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。

JAU02540

エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
アイドリング時に異音がないかを点検します。

JAU02541

低速、加速の状態の点検

暖機運転後に、アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

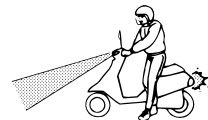
JAU02550*

灯火装置および方向指示灯の点検

エンジンを始動します。

- ヘッドライト、テールランプが点灯するかを点検します。

同時にヘッドライト上下切り替えスイッチを   にし、上向き、下向きに切り替わるかも点検します。



- 前輪ブレーキレバー、後輪ブレーキレバーを別々に握り、ブレーキランプ、ハイマウントストップランプが点灯するかを点検します。

- 方向指示器スイッチを操作し、前後左右の方向指示灯が“カチカチ”音を伴って点滅するかを点検します。



- レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

JAU02552

運行において異常が認められた箇所 の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行
に支障がないかを点検します。

定期点検整備

JAU02553

定期点検整備の実施

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、6 か月点検と1 2 か月点検の2 種類があります。

警告

- 定期点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

JAU02555

定期点検整備の方法

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。

実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

要 点

- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。



警告

点検するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

エアクリーナーエレメントの点検

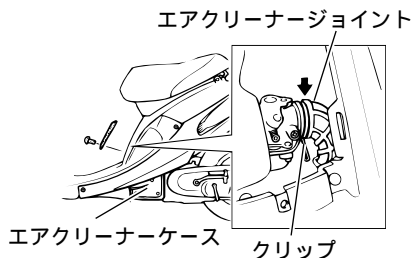
- 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

エレメントを取り出し、汚れによる詰まりなどを点検します。
ほこりなどが著しく多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検・清掃を行ってください。

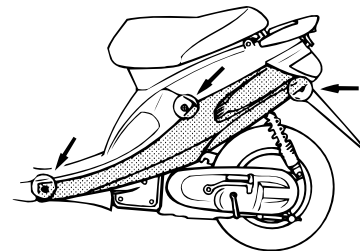
JAU02626*

エアクリーナーエレメントの取り外し

1. シート下側のカバーを取り外します。
2. クリップを握り、エアクリーナージョイントを外します。



3. 取付スクリーンを外し、左のサイドモールドを外します。



要 点

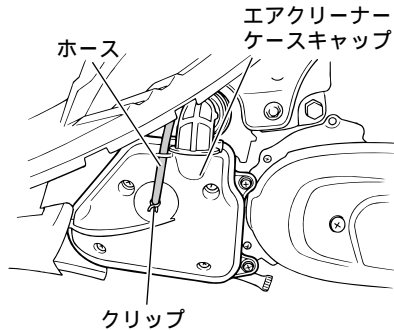
サイドモールドの外しかたは、前部の爪を外し、後方にスライドさせながら中央から後部の爪を外します。爪部を破損しないよう注意してください。

車体各部の給油脂状態の点検

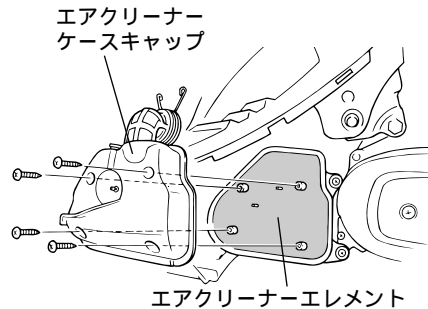
車体各部の給油脂状態が充分であることを点検します。

異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

4. エアクリーナーケースキャップ中央のホースを外します。



5. エアクリーナーケースキャップ取付スクリューを外し、エアクリーナーエレメントを取り外します。



JAU02630

エアクリーナーエレメントの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

(エレメントの清掃方法は、41ページ参照)

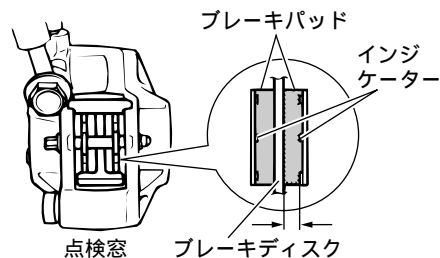
バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ブレーキパッドの点検

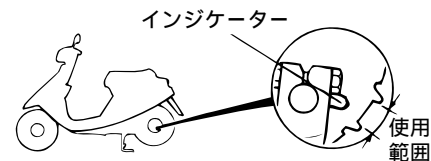
ブレーキパッドのインジケーターとブレーキディスクのすき間で摩耗の状態を点検します。
インジケーターとブレーキディスクのすき間がなくなったら、ヤマハ販売店でブレーキパッドを交換してください。

<前輪ブレーキ>



ブレーキシューの摩耗点検

後輪ブレーキレバーをいっぱい握ったとき、インジケーターが使用範囲から外れるとブレーキシューの使用限度です。ヤマハ販売店で交換・整備を受けてください。



やさしい整備

JAU02663

やさしい整備

点検をして車に異常が認められたときには、調整、清掃、交換などの整備が必要です。ここでは、通常行われることが多い簡単な整備方法を説明しています。

警告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。

点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

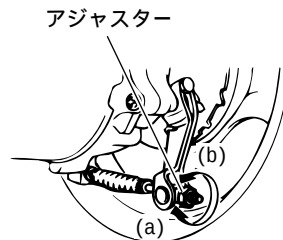
- 点検・整備は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。
ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。
- 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。

JAU02668

ブレーキの遊びの調整

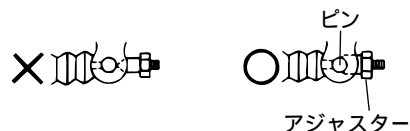
<後輪ブレーキ>

後輪ブレーキレバー先端部の遊びが10～20mmになるように、アジャスターで調整します。



- 1: 時計回り（a）に回すと、遊びが少なくなります。
- 2: 反時計回り（b）に回すと、遊びが多くなります。

ブレーキ液の補給



要 点

アジャスターは、必ずピンとかみ合わせてください。

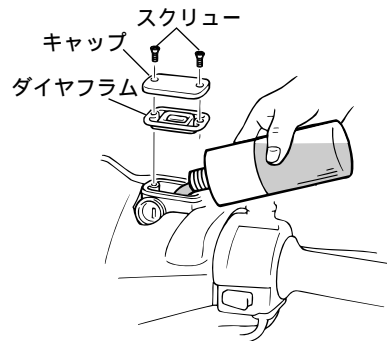
▲警告

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯と、そのタイミングを確認してください。

< 前輪ブレーキ >

前輪ブレーキは無調整式です。

1. リザーバータンクのまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. スクリューを外し、キャップとダイヤフラムを取り外します。
3. ブレーキ液をロアレベル以上補給します。
4. ダイヤフラムのかみ込みに注意して、スクリューでキャップを取り付けます。



指定ブレーキ液：

ヤマハ純正ブレーキフルードDOT # 4

▲警告

- 液面はブレーキパッドの摩耗と共に下がってきます。
液が早く減少するようでしたら、お買い上げのヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- ブレーキ液は安全のために1年毎の交換をおすすめします。

▲注意

- ブレーキ液を補給するときは、リザーバータンク内にゴミや水が混入しないように充分注意してください。
- ブレーキ液の補給は、入れすぎに注意してください。入れすぎると、ダイヤフラムなどを取り付けたときに、あふれます。
- ブレーキ液の変質を防ぐため、他銘柄を混入させないでください。
- ブレーキ液が塗装面やプラスチック、ゴム類に付着すると部品が腐食することがあります。付着したら、すぐにふき取ってください。

トランスミッションオイルの交換時期

交換時期

初回：1 か月点検時または1,000km走行時

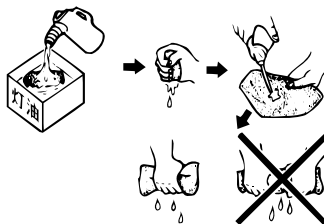
2 回目以降：10,000km走行毎

定期交換時オイル量：0.1L

推奨オイル：ヤマハギヤオイル

エアクリーナーエレメントの清掃

1. エアクリーナーエレメントを取り外します。(36ページ参照)
2. エアクリーナーエレメントをきれいな灯油で洗い、軽くしぼります。
3. ME-Rフィルターオイルに浸してから乾いた布切れなどで包み、軽くしぼります。
4. エアクリーナーエレメントを取り付けます。



⚠ 警告

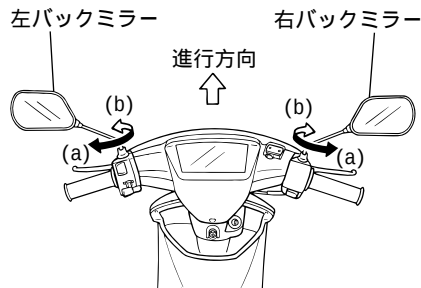
ガソリンや引火性の高い洗剤は燃えやすいので、使用しないでください。

⚠ 注意

- エアクリーナーエレメントの取り付けが悪いと、ゴミやホコリがエンジン内部に入り、摩耗や出力低下を起こして耐久性に影響を与えます。確実に取り付けてください。
- 洗車時にエアクリーナーケースに水を入れないでください。内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。

バックミラー

バックミラーの取り付け及び取り外しかた



- 右バックミラーは左ネジです。
左：反時計回り (a) に回すと締まります。
右：時計回り (b) に回すとゆるみます。
- 左バックミラーは右ネジです。
右：時計回り (a) に回すと締まります。
左：反時計回り (b) に回すとゆるみます。

バッテリー

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

警告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- 火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。
- 補充電は風通しのよいところで行ってください。
- ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。
- 落下などの強い衝撃を加えないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。
- 子供の手の届くところに置かないでください。

応急手当

- 万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときは、すぐに多量の水で洗い流してください。
- 目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

▲ 注 意

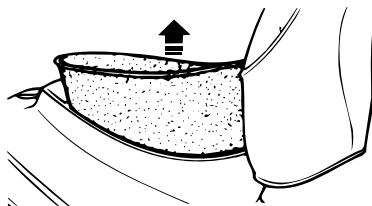
このバッテリーは密閉式の12Vです。

- このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。
- 充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。
- 長期間ご使用にならないときは、6か月ごとに充電してください。
- バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。

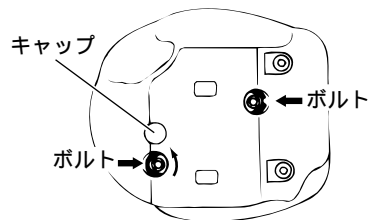
JAU02801

バッテリーの取り外し

1. メインスイッチをOFFにします。
2. シートを開き、ボックス内の内張りを外します。

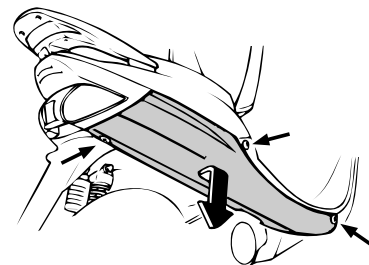


3. ボックス内のキャップを外し、ボルトを外します。

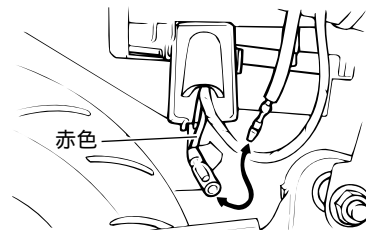


4. 右のサイドモールを取り外します。

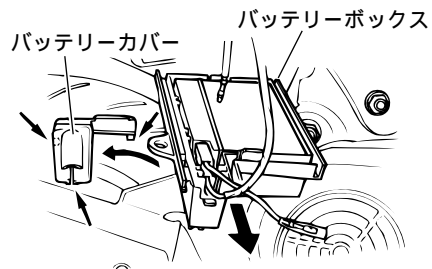
サイドモールは手前に引き上げ、下にスライドさせながら外します。



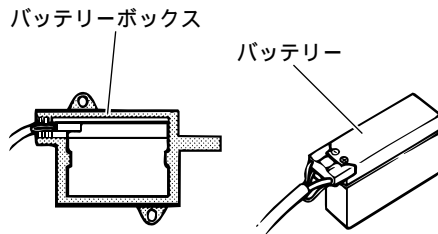
5. 赤色の配線（バッテリーコード）を外します。



6. バッテリーボックスをスライドさせながら手前に引き出し、バッテリーカバーを取り外します。



7. バッテリーボックスからバッテリーを取り外します。



バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

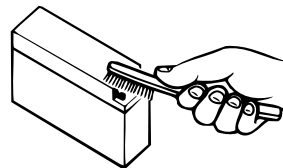
要 点

バッテリーカバーの爪を確実にバッテリーボックスの孔に差し込んでください。

JAU02809

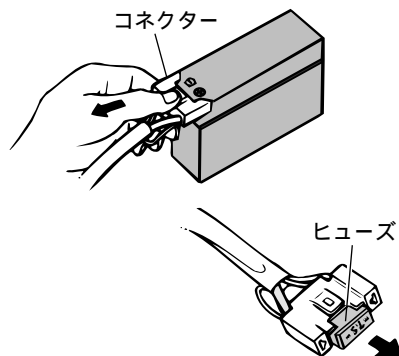
ターミナル部の清掃

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。



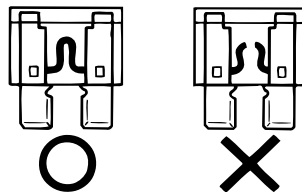
ヒューズ

ヒューズはバッテリーのコネクターにセットされています。



規定ヒューズ：7.5A

ヒューズが切れたときは、原因を調べてから新品と交換してください。



▲注意

- 交換するヒューズは、規格外のものを使用しないでください。
- 指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。
- 電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。
- 洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けしないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。

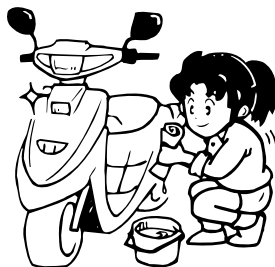
お車の手入れ

JAU02858

洗 車

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。

すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなり



雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をヒビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して水洗いします。洗車後は柔らかい布で水分をよくふきとります。からぶきはキズの原因になりますので、しないでください。また、スチーム洗車や水道ホースなどで、車に直接圧力をかける洗車もしないでください。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の表面保護のため、ワックスがけをしてください。

ワックス：ユニコンカークリーム

⚠ 警 告

- 洗車はエンジンが冷えているときに行ってください。
- 洗車時、ブレーキドラムに直接水をかけないでください。ドラム内に水が入ると、ブレーキの制動力が低下し、一時的にブレーキがきかなくなることがあります。特に寒冷地では充分注意してください。
- 洗車後、ブレーキのききが悪くなる場合があります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。
- ブレーキディスクやパッドに、ワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキがきかなくなり、事故の原因となります。

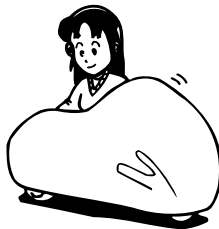
保管のしかた

▲注意

- エンジンとカバーの間に布などを置かないでください。燃えることがあります。
- エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。
故障の原因になります。
- マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。
- コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので、使用しないでください。

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。

なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。



▲注意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

1. 保管する前にワックスがけをしてください。サビを防ぐ効果があります。
2. 6 か月ごとにバッテリーの補充電をしてください。
3. 長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

オートループスーパーオイル

ヤマハの2サイクルエンジンにはヤマハオートループスーパーオイルをご使用ください。

オートループスーパーオイルはヤマハの2サイクルエンジンのために開発されたエンジンオイルです。

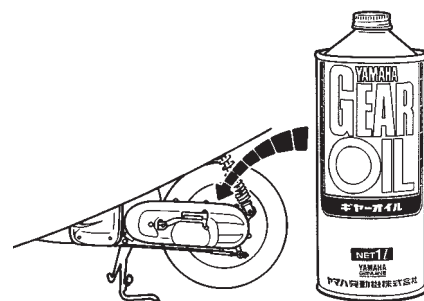
ユニコンカークリーム（ワックス）

塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

ギヤオイル

極圧性、酸化安定性に優れ、油膜強度が高いギヤオイルです。アワ立ちもきわめて少ないため、ベアリングの腐食や摩耗を防ぎます。

交換時期になりましたら、必ず新しいギヤオイルと交換してください。



こんなときは

こんなときは、ヤマハ販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

エンジンが始動しないときは？

次の項目を確認してください。

1. メインスイッチはONになっていますか？
 2. ガソリンはありますか？
燃料計にてガソリン量を確認してください。
燃料計の指針が“E”のときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
 3. 前後輪どちらかのブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
 4. スロットルグリップを回さずにスタータースイッチを押しましたか？
- 以上のことを確認してから、22ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけ直してください。

スターターモーターが回らないときは？

スタータースイッチを押してもスターターモーターが回らないときは、次の項目を確認してください。

1. メインスイッチはONになっていますか？
 2. 前後輪どちらかのブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
- 以上のことを確認しても、スターターモーターが回らないときは・・・
- メインスイッチをONにして、ホーンスイッチを押します。ホーンが鳴らないときは、ヒューズ切れが考えられます。45ページを参照してヒューズを点検してください。
 - ヒューズに異常がないときは、23ページを参照してキッククランクでエンジンを始動し、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ランプ類が点灯しないときは？

次の順序で点検してください。

1. メインスイッチがONになっていますか？
 2. ヘッドライト、テールランプはエンジン始動後、点灯していますか？
 3. 各スイッチを作動させていますか？
 4. ホーンスイッチを押したときに、ホーンは鳴りますか？
- ホーンが鳴るときは、ランプ自体の球切れが考えられます。51ページの規格に合わせて、同じものと交換してください。
 - ホーンが鳴らないときは、ヒューズが切れていることがあります。45ページを参照してヒューズを点検してください。

▲注 意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

走行中にエンジンが止まったときは？

ガソリンはありますか？

燃料計でガソリン量を確認してください。

燃料計の指針が“E”のときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。

上記のことを確認してから、22ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけ直してください。

走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したときは？

早めにエンジンオイルを補給してください。

補給すると、エンジンオイル量警告灯は消えます。

オイルが不足したまま走行すると、エンジンが故障する原因となりますので注意してください。

サービスデータ

製品仕様

機 種 名 称	ジョグYG50ZR	原 動 機 種 類	2サイクル クランク室リードバルブ	バッテリー容量	12V2.5Ah
車名・認定型式	ヤマハ・BB-SA13J	総 排 気 量	49cm ³ (cc)	点 火 方 式	C.D.I
全 長	1625mm	内 径 × 行 程	40.0 × 39.2mm	点 火 プ ラ グ	BPR7HS
全 幅	665mm	圧 縮 比	7.3 : 1	ヒ ュ ー ズ	7.5A
全 高	1020mm	最 高 出 力	6.8PS/7000 r/min	タイヤサイズ	前 90/90-10 40J(チューブレス)
軸 間 距 離	1130mm	最 大 ト ル ク	0.71kgm/6500 r/min		後 90/90-10 40J(チューブレス)
最 低 地 上 高	85mm	エアクリーナー形式	湿式ウレタンフォーム	タイヤ空気圧	前 125kpa(1.25kg/cm ²)
乗 車 定 員	1名	1 次 減 速 比	3.692		後 175kpa(1.75kg/cm ²)
車 両 重 量	72kg	2 次 減 速 比	3.230	電 球	ヘッドライト 12V35/36.5W(ハロゲン)
定 地 燃 費	64km/L(30km/h)	変 速 比	2.590 ~ 0.815		ブレーキ/テールランプ 12V21/5W
最 小 回 転 半 径	1600mm	ガソリントank容量	4.0L		方向指示灯 12V10W × 4

定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。

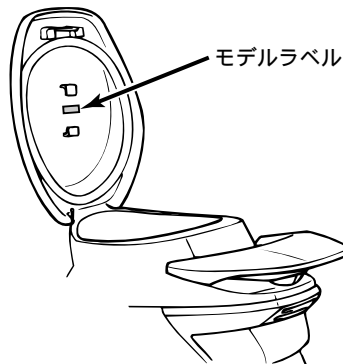
サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

ジョグZR（YG50ZR）サービスマニュアル	部品番号
	基本版：5GD-28197-J0
	追補版：3YK-28197-09

追補版は、マイナーチェンジなどで機構に変更があったときに、その変更部分のみを説明したサービスマニュアルです。基本版とあわせてご使用ください。

モデルラベル

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化して記載しています。パーツオーダー、アフターサービスなどのご相談に対して的確な判断・処理をするために、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。モデルラベルはシート裏側に貼り付けてあります。



あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車 名 は	YG50ZR
モデルラベル	製品仕様を示しています。 ○ カラーリングを示しています。 ●

JAU02909

こんなときは、このページをご覧ください。

- エンジンが始動しないときは.....P49
- 走行中にエンジンが止まったときは.....P50
- 走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したときは.....P21
- ブレーキのきき具合がおかしいときは.....P39
- スターターモーターが回らないときは.....P49
- ランプ類が点灯しないときは.....P49

●こまったときの連絡先

お問い合わせ、ご相談は下記お客様相談室にお願いします。

ヤマハ発動機株式会社 お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-090819

所在地 〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

・受付時間 9:00～17:00

・土曜、日曜、祝日を除く

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

3YK-28199-J1



 **YAMAHA**
ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

ジョグZR取扱説明書

991000

再生紙を使用しています